

令和元年 11 月 21 日
九州地方整備局
福岡国道事務所

国道 3 号広川～八女の道路計画を進めるにあたり 地域の皆様のご意見をお聞かせください

「社会資本整備審議会 道路分科会 九州地方小委員会」において、計画段階評価※の手続きを進めております「国道 3 号広川～八女」に関し、最適なルート帯および構造の検討に必要な重視すべき事項について皆様のご意見をお聞かせください。

※計画段階評価とは、新規事業採択の前段階において、政策目標を明確化した上で、複数の対策案の比較評価を行うものです。

アンケート調査について

○実施期間 : 令和元年11月22日(金)から令和元年12月20日(金)

アンケート調査対象者	実施・配布方法
① 沿線住民の方 (令和元年11月22日(金)から12月20日(金))	・ 郵送により配布 広川町、八女市 ※無作為抽出
② その他の地域にお住まいの道路利用者 (令和元年11月22日(金)から12月20日(金))	・ 道の駅「たちばな」「鹿北」の情報センターで配布 ・ 九州自動車道 広川サービスエリア内(上り)、基山パーキングエリア内(下り)の情報カウンターで配布

ヒアリング調査について

○実施期間 : 令和元年12月5日(木)から令和元年12月27日(金)

○調査対象等 : 沿線自治体及び国道 3 号の利用が考えられる団体、企業等

○実施方法 : 対面方式等

オープンハウスについて

○実施期間 : 令和元年12月12日(木)から令和元年12月15日(日)
(平日) 9時から16時、(土・日) 10時から16時

○備考 : 荒天が予想される場合は延期とし、前日の17時までに福岡国道事務所ホームページでお知らせします。

実施場所	実施日
広川町町民交流センター「いこっと」	・ 令和元年12月12日(木)、令和元年12月15日(日)
八女市役所 黒木支所	・ 令和元年12月13日(金)
八女市民会館「おりなす八女」	・ 令和元年12月14日(土)

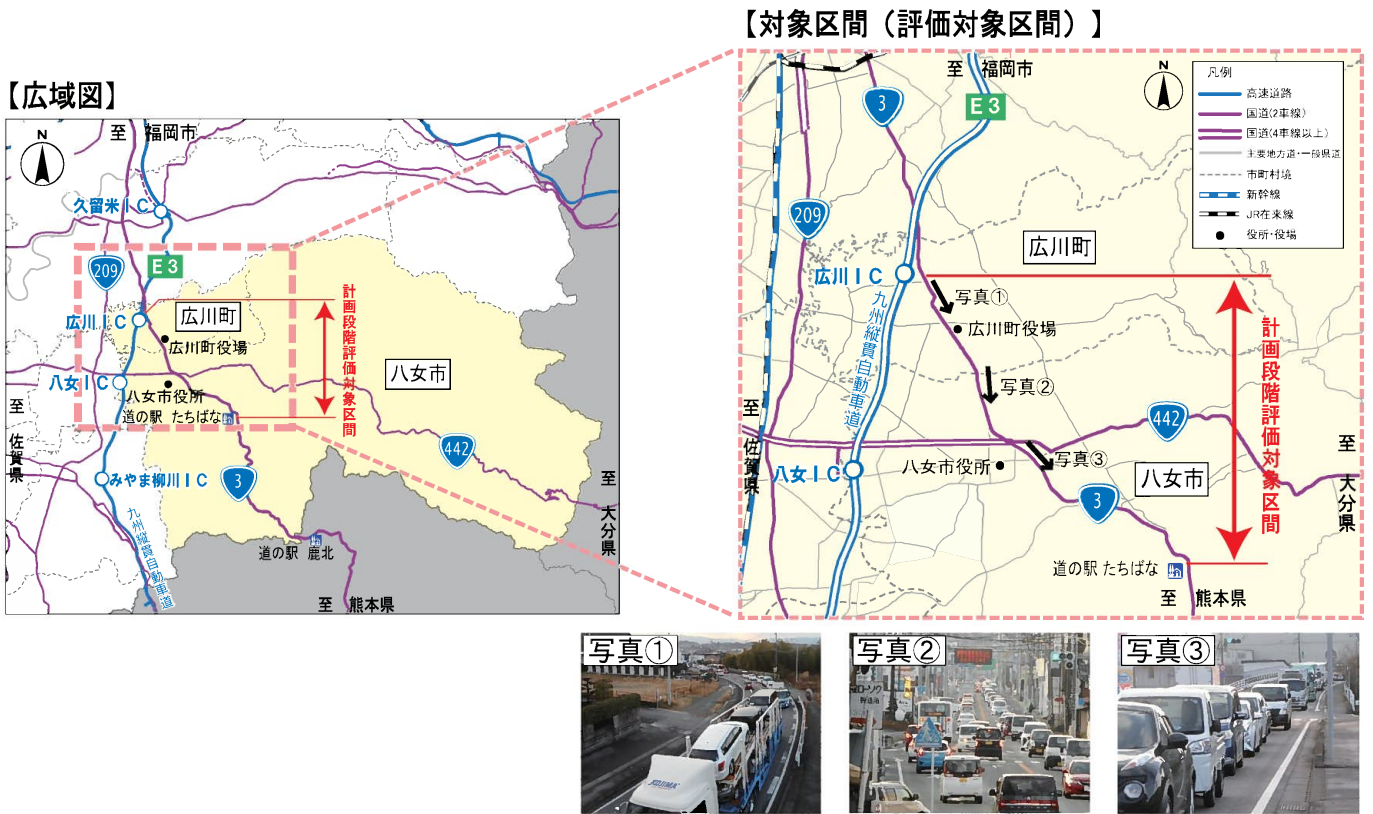
【問合せ先】 : 国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所

技術副所長 ちとせ やすひで 千年 康秀 計画課長 こまい まさき 駒井 正樹

(代表) 電話 : 092-681-4731 (直通) 電話 : 092-682-7747 FAX : 092-682-7763

E-mail : fukkoku@mlit.go.jp URL : <http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/>

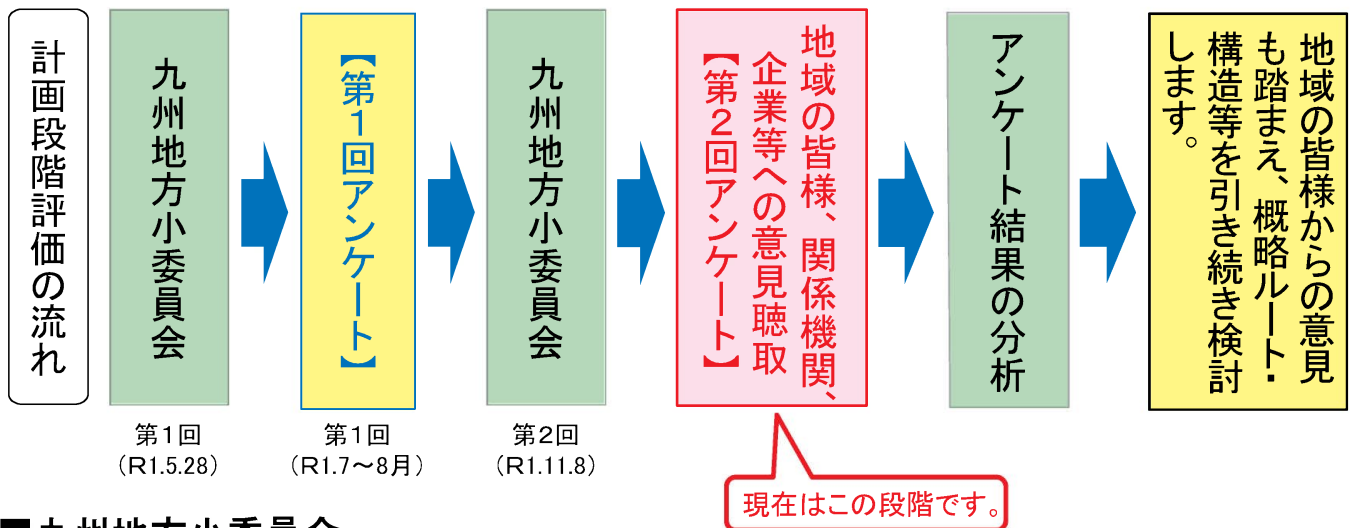
国道3号（広川町～八女市）対象区間位置図



■地域の皆様からのご意見は「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。

これは、道路の整備方針について地域の声（地域の皆様、道路利用者、関係団体等）を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



■九州地方小委員会

九州地方小委員会は、公共事業の効率性や透明性の一層の向上を図るため、学識経験者など第三者から構成される委員会です。

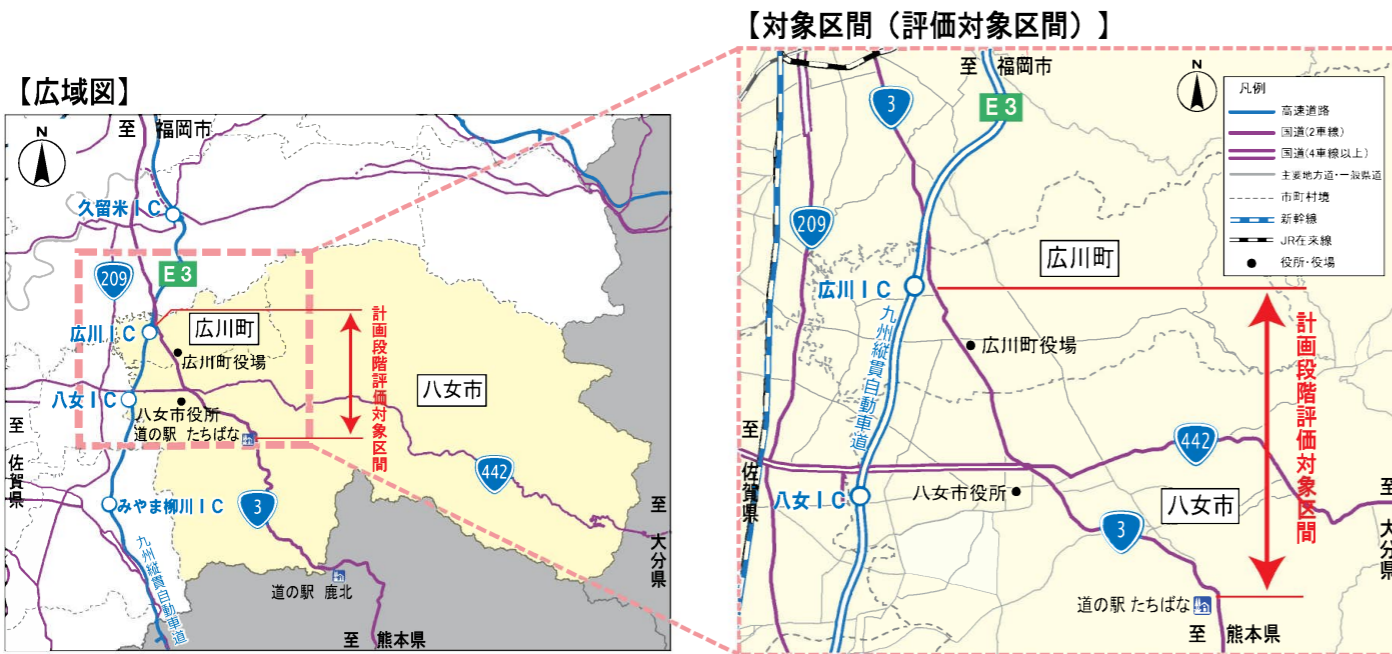
なお、会議資料は、国土交通省九州地方整備局のホームページでご覧いただけます。

広川町～八女市における国道3号の道路計画に関する 第2回アンケートにご協力をお願いいたします

国道3号は、福岡県北九州市を起点として熊本県熊本市を經由し、鹿児島県鹿児島市に至る延長431kmの道路です。

今回は、国道3号（広川町～八女市）に関し、最適なルート帯および構造の検討に必要な重視すべき事項について皆様のご意見をお聞きするものです。

本アンケートへのご協力をお願いいたします。



■ アンケート対象者

本アンケートは、八女市・広川町にお住まいの方から無作為に抽出し、配布しています。ご家族の中で国道3号を最も多く利用される方がご回答くださいますようお願いいたします。

■ 回答の提出方法及び締切

○回答は次のいずれかの方法のうち1つをお選びください。

【方法1】 同封しています「返信はがき」にご記入頂き、

令和元年12月20日（金）までに、

切手を貼らず郵便ポストへご投函をお願いいたします。

【方法2】 インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンより、

下記A、Bいずれかの方法でアンケートサイトにアクセスし、

令和元年12月20日（金）までに、回答をお願いいたします。

A 右記URLをアドレスバーに入力 URL

B QRコードからアクセス QRコードはこちら QRコード



アンケートの目的

このアンケートは、国道3号（広川町～八女市）の3つの『ルート帯案』※1のうち、最適なルート帯および構造の検討に必要な「重視すべき事項」※2について皆様のご意見をお聞きするものです。

お聞きした「重視すべき事項」は、各ルート帯における政策目標等の達成状況と合わせて最適なルート帯等を検討する際の参考とします。

なお、最終的なルート帯は、九州地方小委員会の意見を踏まえ決定します。

頂いた回答はアンケート以外の目的で使用することはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

※1：『ルート帯案』とは、路線を計画する概ねの幅を示す案。

なお、6ページに示す3つのルート帯案は今年の11月に開催された九州地方小委員会において承認されたもの。

※2：「重視すべき事項」とは、最適なルート帯および構造を決定するための評価項目。

■ 送付資料について

返信はがきに記載されている「重視すべき事項」の①～⑫までの番号は、4、5ページの『ルート帯および構造を検討するうえで重視すべき事項』や7ページの『ルート帯案の比較表』の番号と同じ項目を示しています。

● ルート帯および構造を検討するうえで重視すべき事項（4、5ページ）



● 返信はがき

問4-1 対策案を検討する際に、下記の重視すべき事項について5段階で評価してください。
【①～⑫の事項それぞれ該当する箇所につただけ○をつけてください】

番号	重視すべき事項	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらでもない	あまり重視すべきでない	重視すべきでない	必要なし
①	洗濯せずに円滑に移動でき、沿道施設を利用する交通の阻害を受けないこと	5	4	3	2	1	
②	事故の危険性が少ないこと	5	4	3	2	1	
③	災害や冠水時に国道3号の代替路として利用できること	5	4	3	2	1	

● ルート帯案の比較表（政策目標等の達成状況）（7ページ）

ルート帯案の比較表（政策目標等の達成状況）

項目	案1	案2	案3
建設費
交通量
安全性
災害対策
環境配慮
地域振興
その他



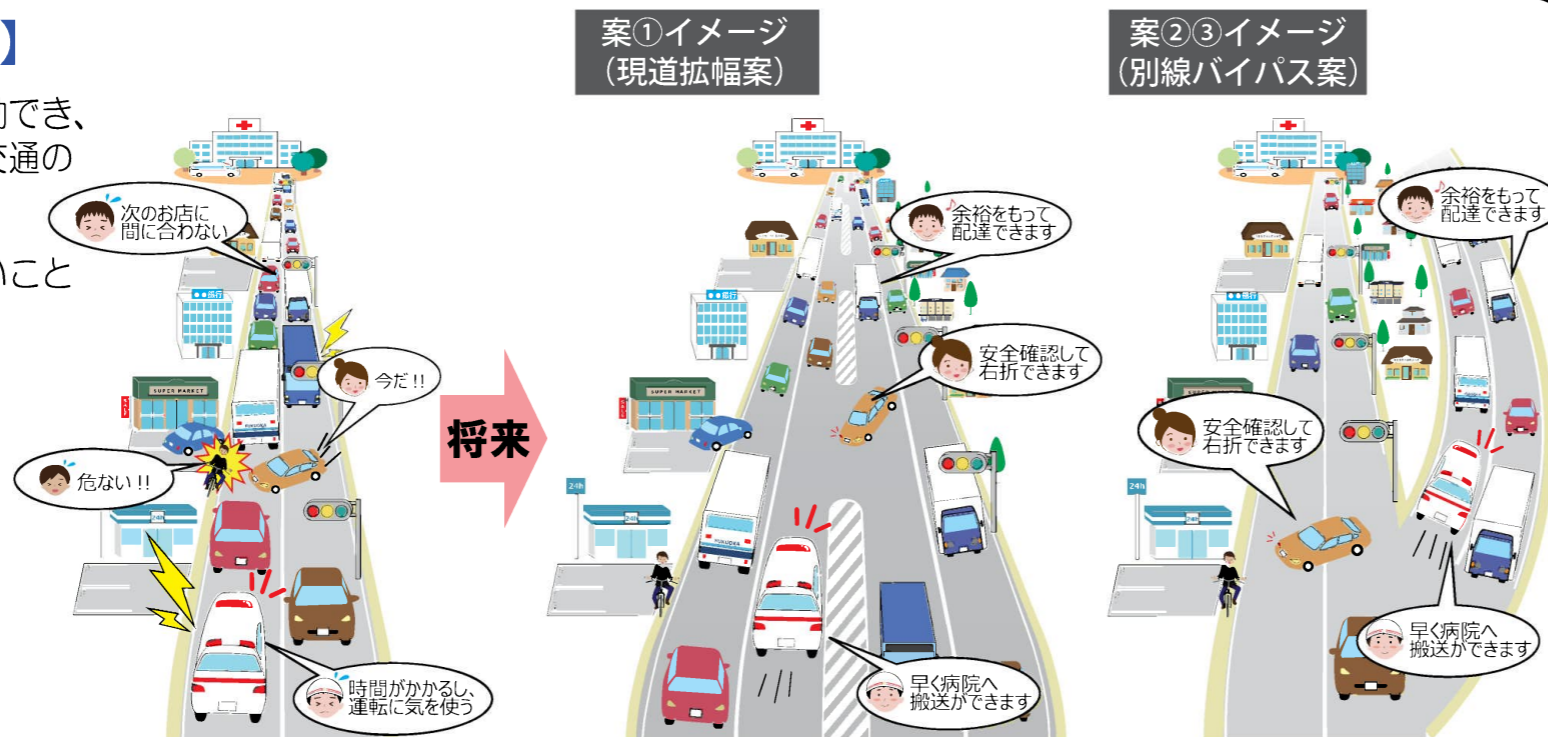
ルート帯および構造を検討するうえで重視すべき事項

1 2 【暮らし】

- ・渋滞せずに円滑に移動でき、沿道施設を利用する交通の阻害を受けないこと
- ・事故の危険性が少ないこと

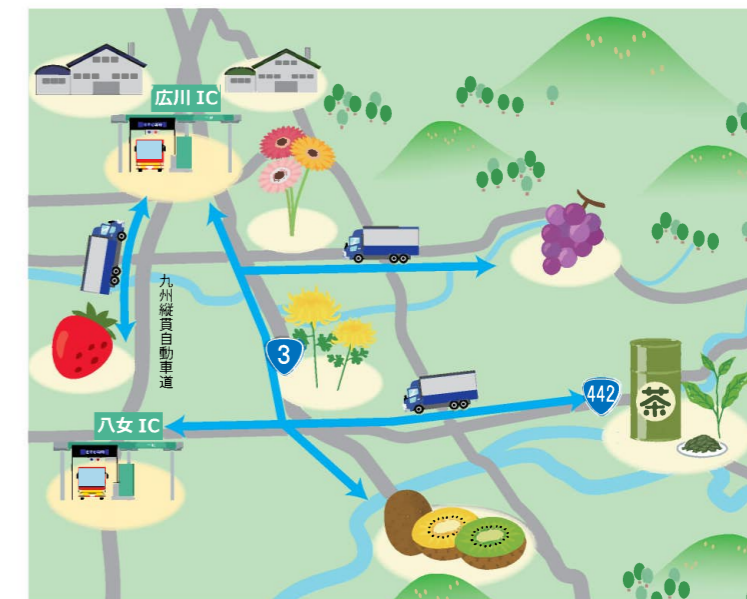
5 【医療】

- ・救急時に久留米医大、聖マリア病院に早く行けること



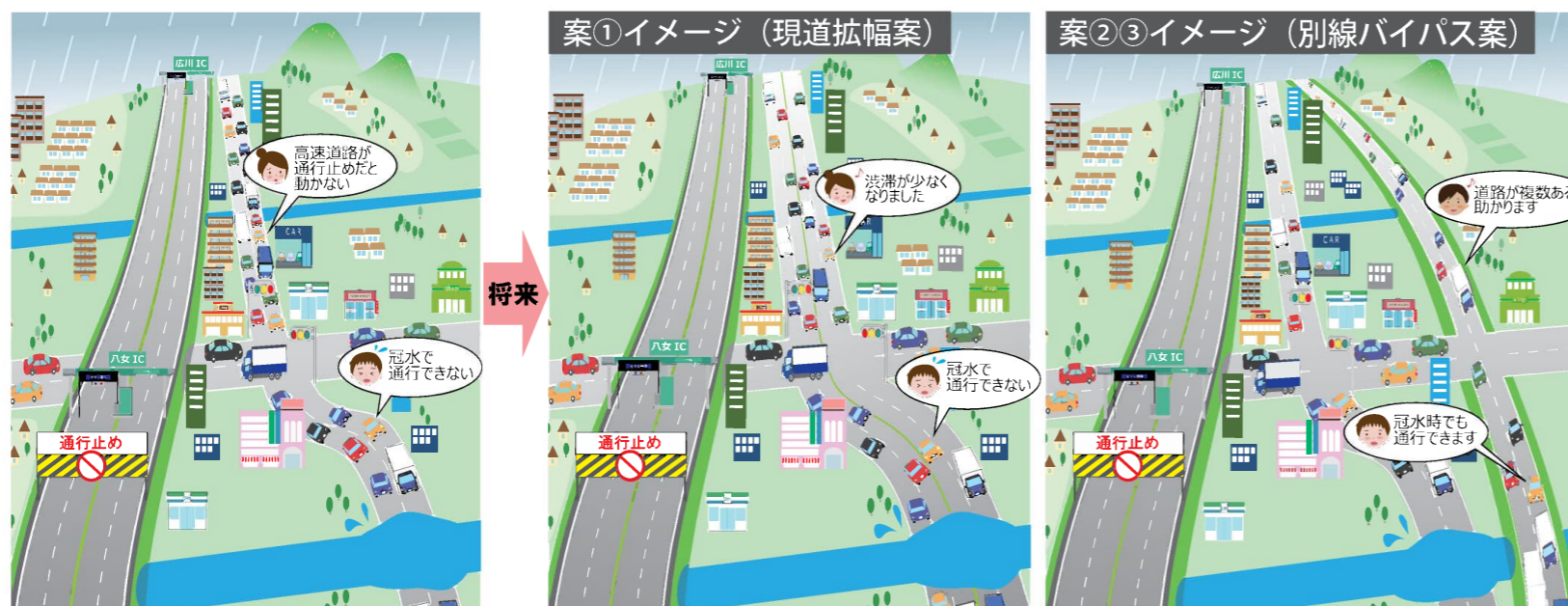
4 【産業】

- ・輸送を効率化し、地域の企業活動・農業振興を支援すること



3 【防災】

- ・災害時に高速道路の通行止めで交通が集中する国道3号の代替路として利用できること
- ・国道3号の冠水時に代替路として利用できること



6 【観光】

- ・観光地への所要時間が短いこと



<道路整備による影響>

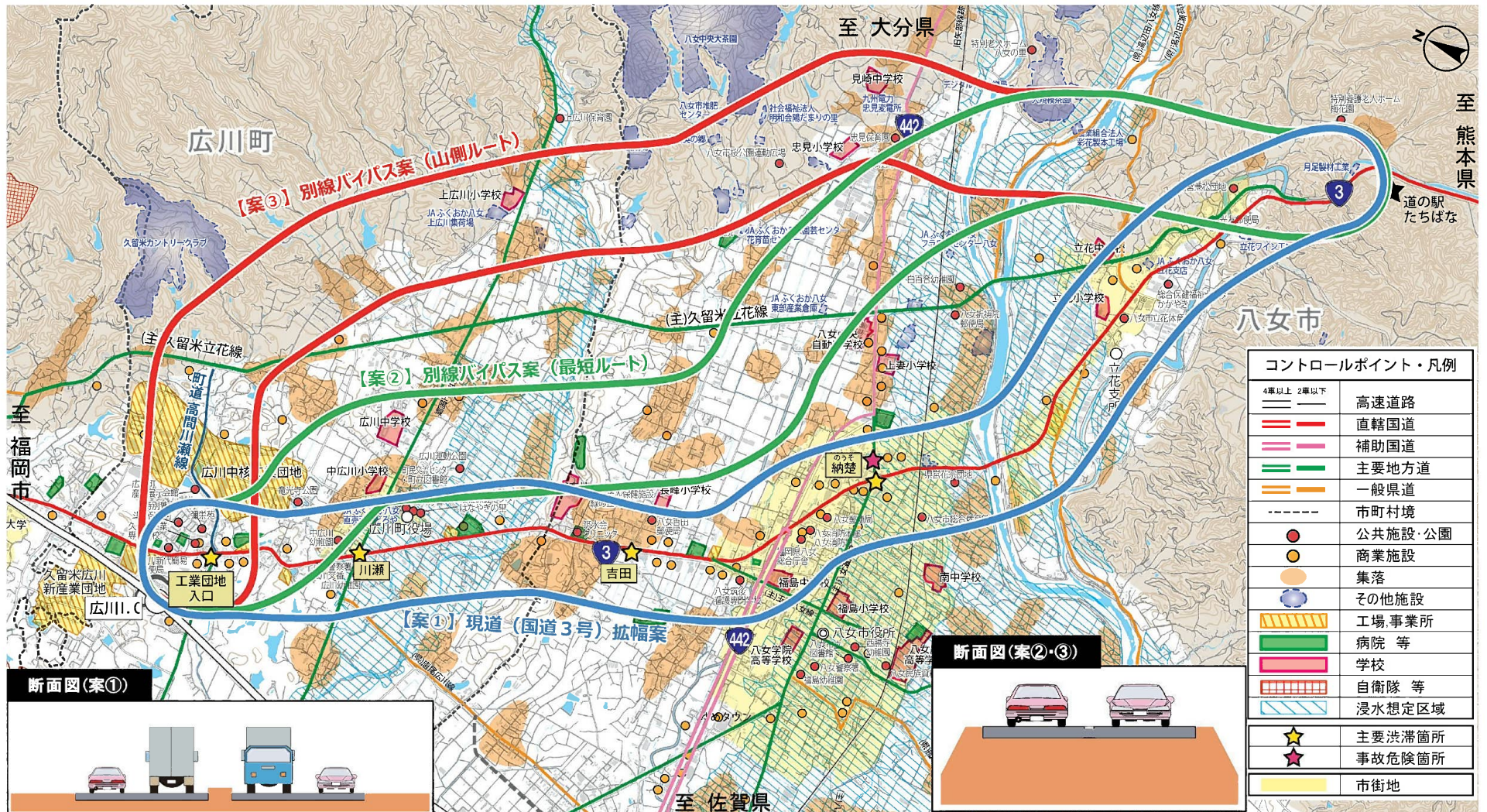
- ⑦生活環境（騒音など）への影響が小さいこと
- ⑩沿道からの利用が便利なこと

- ⑧自然環境（動植物など）への影響が小さいこと
- ⑪施工中の影響が小さいこと

- ⑨家屋や店舗の移転が少ないこと
- ⑫整備費用が安いこと

ルート帯案

- 【案①】 現道（国道3号）拡幅案 : 国道3号を4車線に拡幅し、交通容量の拡大を図ることで、交通混雑緩和を図る案
- 【案②】 別線バイパス案（最短ルート） : 最短ルートを基本に、商業施設や公共施設を可能な限り回避でき、通過交通を分離する案
- 【案③】 別線バイパス案（山側ルート） : 山間部に沿って、集落や市街地、浸水想定区域を可能な限り回避でき、通過交通を分離する案



ルート帯案の比較表（政策目標等の達成状況）

評価項目		【案①】現道（国道3号）拡幅案	【案②】別線バイパス案（最短ルート）	【案③】別線バイパス案（山側ルート）	
項目	評価指標	現道の国道3号を拡幅する案	起終点を最短で結んだ別線バイパス案	集落・市街地を可能な限り回避した別線バイパス案	
		約10km	約10km	約11km	
政策目標	【暮らし】交通機能の向上による交通環境の改善	① 渋滞の緩和	<ul style="list-style-type: none"> 通過交通が別線へ転換し、現国道3号の渋滞緩和が図られる 通過交通が別線へ転換し、沿道施設や接続する道路からの出入り車両による通行阻害の緩和が図られる 	<ul style="list-style-type: none"> 通過交通が別線へ転換し、現国道3号の渋滞緩和が図られる 通過交通が別線へ転換し、沿道施設や接続する道路からの出入り車両による通行阻害の緩和が図られる 	
		② 交通事故の減少	<ul style="list-style-type: none"> 交通が集中し、沿線店舗や接続する道路からの出入り車両による加減速を要因とした事故が懸念される 	<ul style="list-style-type: none"> 渋滞の緩和により、現国道3号の交通事故減少が見込まれる 	
	【防災】信頼性の高い道路ネットワークの確保	③ 災害時の信頼性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 災害時、高速道路通行止めによる国道3号の交通集中が発生した場合、代替路が確保できない 浸水想定区域を通過する必要があり、冠水時の通行が困難 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時、高速道路通行止めによる国道3号の交通集中が発生した場合、代替路が確保できる 別線により道路の高さを確保することで、現国道3号の冠水時に別線での通行が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時、高速道路通行止めによる国道3号の交通集中が発生した場合、代替路が確保できる 別線により道路の高さを確保することで、現国道3号の冠水時に別線での通行が可能
	【産業】速達性・定時性の向上による産業活動の支援	④ 輸送の効率化	<ul style="list-style-type: none"> 農業が盛んな八女市東部地域から広川ICまでの所要時間が現況より7分短縮 	<ul style="list-style-type: none"> 農業が盛んな八女市東部地域から広川ICまでの所要時間が現況より13分短縮 	<ul style="list-style-type: none"> 農業が盛んな八女市東部地域から広川ICまでの所要時間が現況より16分短縮 広川町が検討中の広川東部地域の新たな工業団地等の計画への支援が期待できる
	【医療】速達性向上による救急医療活動の支援	⑤ 久留米市の第3次救急医療施設への30分圏域人口	<ul style="list-style-type: none"> 第3次救急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、30分圏域人口が拡大するが他案より劣る 	<ul style="list-style-type: none"> 第3次救急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、30分圏域人口が拡大する 	<ul style="list-style-type: none"> 第3次救急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、30分圏域人口が拡大する
	【観光】速達性・定時性の向上による観光振興の支援	⑥ 観光地へのアクセス性	<ul style="list-style-type: none"> 広川ICから観光資源に恵まれている八女市山間部地域までの所要時間が現況より7分短縮 	<ul style="list-style-type: none"> 広川ICから観光資源に恵まれている八女市山間部地域までの所要時間が現況より13分短縮 	<ul style="list-style-type: none"> 広川ICから観光資源に恵まれている八女市山間部地域までの所要時間が現況より16分短縮
道路整備による影響	生活環境	⑦ 大気質・騒音等	<ul style="list-style-type: none"> 概ね市街地を通過するため、生活環境への影響は大きく、特に施工時における周辺への生活への配慮が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 点在する集落を通過するため、生活環境への影響は大きい 	<ul style="list-style-type: none"> 点在する集落を概ね回避でき、生活環境への影響は小さい
	自然環境	⑧ 田畑・山地の改変	<ul style="list-style-type: none"> 集落・市街地を通過し、田畑・山地の改変は少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 概ね田畑・山地を通過し、主に田畑の改変を伴う 	<ul style="list-style-type: none"> 概ね田畑・山地を通過し、田畑・山地の改変を伴う
	家屋・店舗への影響	⑨ 移転が必要となる家屋数	<ul style="list-style-type: none"> 集落・市街地を通過するため、家屋・店舗の移転等は最も多い 	<ul style="list-style-type: none"> 点在する集落を通過するため、家屋・店舗の移転等は多い 	<ul style="list-style-type: none"> 集落・市街地を概ね回避するため、家屋・店舗の移転等は少ない
	沿道利用	⑩ 施設へのアクセス性	<ul style="list-style-type: none"> 現国道3号沿道の商業施設などに直接アクセスできる 	<ul style="list-style-type: none"> 別線案であるため、現国道3号沿道の商業施設などへのアクセス性に劣る 	<ul style="list-style-type: none"> 別線案であるため、現国道3号沿道の商業施設などへのアクセス性に劣る
	施工中の影響	⑪ 施工中の影響	<ul style="list-style-type: none"> 工事中は交通を確保するためあるため交通の切り回しが発生し周辺店舗や家屋への影響が大きい 	<ul style="list-style-type: none"> 集落が点在するため工事中の影響が大きい 	<ul style="list-style-type: none"> 集落や市街地を避けているため、工事中の影響が小さい
	コスト	⑫ 整備に要する費用	約330～380億円	約300～350億円	約250～300億円

国道3号(広川町～八女市)

道路計画に関する意見をお聞かせください

詳細は裏面に
web回答も受付中!



オープンハウスを開催します

国道3号(広川町～八女市)に関する道路整備の計画検討を進めるにあたり、
下記の日時・場所においてパネル展示と合わせ、スタッフが説明を行います。
最適なルート帯および構造の検討に必要な「重視すべき事項」について、
皆様のご意見をお聞かせ下さい。

開催日	時間	場所
12月12日(木)	9:00～16:00	広川町町民交流センター「いこっと」
12月13日(金)	9:00～16:00	八女市役所 黒木支所
12月14日(土)	10:00～16:00	八女市民会館「おりなす八女」
12月15日(日)	10:00～16:00	広川町町民交流センター「いこっと」

どなたでもご参加いただけます。どうぞお気軽にお越し下さい。



国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所
(協力) 八女市・広川町

お問い合わせ先： 福岡国道事務所 計画課

住所 〒813-0043 福岡県福岡市東区名島3丁目24-10

TEL 092-682-7747 (計画課) 平日9:15～18:00

URL <http://www.qsr.nhit.go.jp/fukkoku/>

【オープンハウス会場アクセスMAP】

広川町町民交流センター 「いこっと」

<住所>

八女郡広川町大字新代1965-1

<開催日>

12月12日 **木** 9:00~16:00

12月15日 **日** 10:00~16:00



八女市役所 黒木支所

<住所>

八女市黒木町今1314-1

<開催日>

12月13日 **金** 9:00~16:00



八女市民会館 「おりなす八女」

<住所>

八女市本町602-1

<開催日>

12月14日 **土** 10:00~16:00



web
回答も
受付中!

WEBアンケートも実施しています。会場にお越し頂けない方はぜひアクセスして下さい。

インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンより、
下記A、Bいずれかの方法でアンケートサイトにアクセスし、

令和元年12月20日(金)までに、回答をお願いします。

A 下記URLをアドレスバーに入力

<https://enquete.cc/q/hirokawayame>

B QRコードからアクセス→



※台風等、荒天が予想される場合は延期とし、オープンハウス前日の17時までに福岡国道事務所のホームページでお知らせします。

※また、12月20日(金)まで、国道3号「道の駅たちばな」「道の駅鹿北」の情報コーナー、および、九州縦貫自動車道「広川サービスエリア(上り)」「基山パーキングエリア(下り)」のインフォメーションコーナーにおいて、アンケート回答用郵便はがきを設置しています。